2回目も“変わる”

XaCARミーティング時に施工した「進化剤」での変化は?

第45回

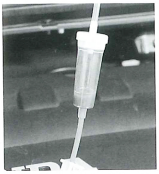
HONDA CIVIC 5HB 2.2 i-CTDi Sport

ホンダ・シビック(イギリス仕様)

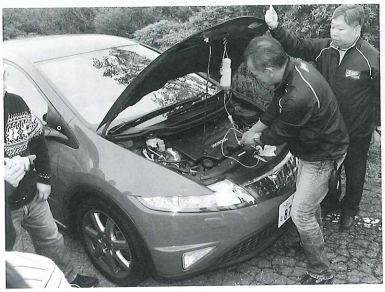
FK3

問い合わせ／FEEL KIND　090-7177-0203

手にとって見る限りは、何の変哲もない黒い液体なのだが…



注入は点滴に似た装置を用いる。オイルのレベルゲージからゆっくりと時間をかけて入れるのがポイントだ。施工の仕方で効果も半減してしまうので注意が必要だ



先々月号で施工を行なった「進化剤」。一般的な添加剤とは異なり、エンジン内部の見えない凹凸に進化剤の成分が入り込む→エンジンの熱で定着する→10ナノメートル（ちなみに高精度の研削面の平均表面粗さが50ナノメートル）以下の平滑面になると同時に、母材に比べ10％程度強化された耐摩耗性を得ると言う。つまり、金属部材その物の摩擦を改質させると優れ物だ。

その効果は、すでにレポートしていますが、間違いなく体感できました。ただ、この手の商品の多くは、施工当初は体感できるのですが、時を追うことに、その良さに慣れてしまってわからなくなってしまう…という事もあるのも事実。

ただ、進化剤はいい意味でなかなか慣れません。施工後にオイル交換もしましたが、相変わらずトルクが太いな…と感じますし、燃費も施工以来、平均20km／Lを割ったことがありませんから。

施工以来のクルマの変化を「FEEL KIND」の井上さんに、定期的に連絡していますが、「では2回目を試してみませんか？　さらに違いがでますから」

というわけで、2回目の施工を行なうことに。せっかくですので、ザッカーミーティング時に、参加者が集まる中、公開施工（?!）をしてもらいました。暖気してから点滴のような専用の器具でオイルのレベルゲージからゆっくりと時間をかけて注入する方法は前回と全く同じ。

その様子を見ていたミーティング参加者の中に「施工してもらおうか」と悩む人もちらほらと…。「エンジンに影響がない?」「エンジン壊れませんよね?」と熱心に質問をしていました。井上さんは「壊れる要素は何もありません。以前、億単位のスーパースポーツにも施工しましたが、そんなの壊したら我々だって弁償できませんし…」と。

読者の目の前で2回目の施行

僕だって一般ユーザーと同じ考えですよ。効果があっても壊れる恐れがあるなら、超希少な「欧州シビックディーゼル君」でテストなんかしません。恐らく日本に一台だけしかなく、壊れたら修理する部品もないわけで…。

注入後、15分の暖気をして終了。ミーティングも無事終了し、片づけをして家路に着くために走り始めたら、その効果は…またまたわかってしまいました。

いい意味で、ちょっと「危ない」クルマ。というのは、今までの感覚でアクセルを踏んでしまうと、感覚以上に加速しすぎてしまうのです。以前よりも実用域のトルクが図太くなりました。つまり、よりアクセルを踏まなくてもよくなった…ということを意味します。

この事を井上さんに話すと、「1回目でも十分施工できていますが、2回目、3回目と施工すると、よりシッカリと効果（平滑面&母材よりも10％ほど強化された耐摩耗性）が出ます。だから、リピーターが多いんですよ」とのこと。

ちなみに燃費は…相変わらず20km／Lオーバーを維持し続けています。他のスタッフが乗ってもそうですから、間違いないでしょう。（マフ）

XaCAR GARAGE

The car and others of an editorial department

編集部のクルマ達

HONDA CIVIC 5HB 2.2 i-CTDi Sport（イギリス仕様）

第45回　FK3　013

45,800km　46ヵ月

XaCARミーティングに持って行った欧州シビック君ですが相変わらずの人気者。今回の主役であったアウディRS5やGT-Rに存在感でも負けていませんでした。参加者から「この5ドアが日本で売っていたら買ったのですが…」という声をたくさん聞きました。そんな声を聞く半面、日本からシビックがなくなる話もしなければならない…なんだか寂しいですよね。

NISSAN GT-R BLACK EDITION

第36回　R35　014

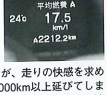
22,800km　36ヵ月

10月18日に発表された2011年モデルのGT-Rに、ドイツで試乗してきました。詳細は26ページ以降に掲載されていますが、驚愕の進化を遂げていました。お財布事情から買い替えを断念したものの、その凄さを体験して以来、買い替えを改めて検討し始めています…。（五味康隆）

HONDA CR-Z α

第8回　ZF1　022

7,600km　8ヵ月



ここ1ヵ月で、CR-Zの生涯燃費が大きく悪化しました。その理由は、スポーツモードの気持ち良さや刺激にハマり、アクセルを遠慮なく踏み込んでいるからです。その理由は改めてお伝えしますが、走りの快感を求めるあまり、走行距離も1000km以上延びてしまいました。（五味康隆）

SUBARU LEGACY B4

第6回　BM9　023

26,840km　6ヵ月

はっきり言って今月はアイミーブやらランエボやら三菱のクルマに乗る機会がやたら多かったので、ほとんど編集部レガシィ号のハンドルを握っていません（汗）。ところがどっこいレガシィの走行距離はしっかりと1300km も走っているではないですか！　他のクルマたちも乗ろうね編集部の皆さん！